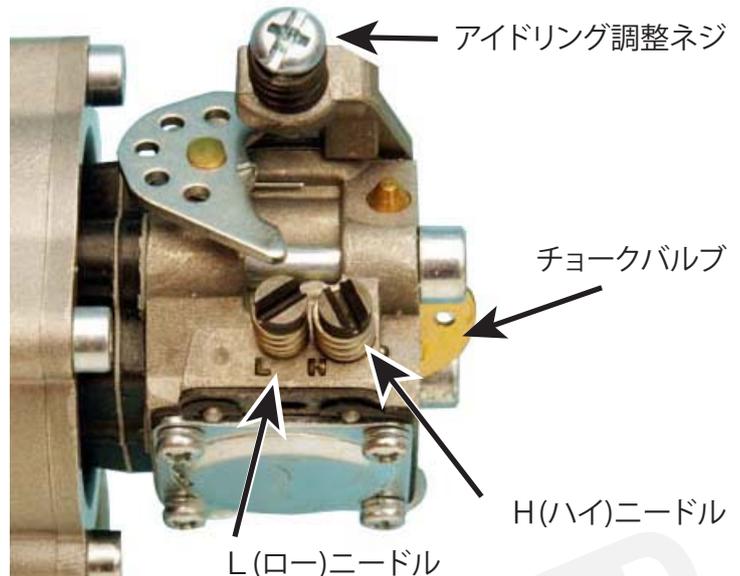


DLEエンジン ニードル設定をやりなおす方法

DLEエンジンのニードルは工場出荷時に標準的な開度にセッティングしてあります。

ほとんどの場合はそのまま、或いは微調整で運転できますが、どうしても調子よく回らない場合やニードル位置の見当がつかなくなってしまった場合はこのパンフレットの方法で調整を最初からやり直してください。

(注意) エンジンが回っているままでのニードル操作はプロペラに接触するなどの危険を伴います。ニードルを調整する時は必ずエンジンを停止して行って下さい。



※ニードル調整には、僅かな回転数の変化を的確に把握できるオンボードタコメーター(品番47735)の使用をおすすめします。

(A) まず、アイドリング調整(Lニードルで調整)から始めます。

- ① H、Lニードルを共に全閉から1回転開けてエンジンを始動します。
- ② スロットルでエンコンをあおってみます。
混合気が薄すぎるので吹きあがりについてこないはずです。
- ③ 一旦エンジンを止め、Lニードルを1/8回転あけて(左に回す)から再始動。エンコンをあおってみます。
薄すぎるとついてこないの、スロットルをあおってもついてくるまでLニードルを開けてゆきます。
- ④ 吹き上がりについてくるようになれば、アイドリングで回転が安定するようにLニードルを微調整。
- ⑤ アイドリングにして30秒ぐらいで回転が徐々に上がるようであれば絞りすぎ(薄い)ですので、ちょっと開けます(左に回す)。
- ⑥ 逆に30秒ぐらいで回転が徐々に下がれば開けすぎ(濃すぎる)ですので、ちょっと絞ります(右に回す)。
- ⑦ どちらにしても、アイドリング(スロー)からの吹きあがりのレスポンスで調整します。

(B) 次にハイ側の調整をします。

- ① ハイ側で運転を続けて回転が落ちてくるようであれば絞りすぎです。Hニードルは今は1回転しか開いてないので、絞りすぎのはずです。
(注意) 薄過ぎる混合気で運転を続けるとシリンダーとピストンが焼き付き、エンジンが壊れてしまいます。
- ② 一旦エンジンを止め、Hニードルを1/8あげ(左に回す)再始動。フルハイで回転が落ちてこないところまで少しずつHニードルをあけてゆきます。
- ③ ハイで回転が一定になれば、次はフルハイからアイドリング位置まで素早くスロットルを閉じてみます。
- ④ ここで回転が落ちすぎる場合はHニードルがあけすぎ(濃い)です。
つまり、アイドリング調整で1700回転で安定するように調整したのに、一旦1500回転ぐらいまで下がってしまう。しばらく待っていると、回転が上がってアイドリングする。
こんな症状の時は、Hニードルがあけすぎ(濃い)ですからHニードルを1/8閉めてみます。
- ⑤ 再びハイで5秒ほど回して素早く閉じます。
ずっとアイドリングにならない場合は、まだ開けすぎなのでHニードルをもう少し閉めます。
- ⑥ これを繰り返して、すぐにアイドリングするまで調整します。

(まとめ)

- ① ハイ側を最高回転に持っていくことは不要。ここがグローエンジンと一番違うところです。
- ② レスポンスを重要視することによって調整が完了します。
- ③ どちらにしても、辛い目(薄い目)から調整することがポイントです。
- ④ グローのように甘い目(濃いめ)から絞り込んでいくと分かりにくいです。

DLEエンジン日本正規代理店
株式会社OK模型
〒577-0808 東大阪市横沼町3-3-11
TEL:06-6725-2031 FAX:06-6725-2034
<http://www.okmodel.co.jp>